

久保(包)第176号
令和元年8月29日

居宅介護支援事業所 管理責任者 様
地域包括支援センター 管理責任者 様
その他事業所 管理責任者 様

久万町高原町地域包括支援センター
久万高原町長 河野 忠康
(公 印 省 略)

令和元年度第2回介護支援専門員スキルアップ研修の開催について

時下、ますますご健勝のことと存じます。

さて、当センターでは、標記研修を別添要綱のとおり開催することとなりました。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、関係職員の受講について格別のご高配を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【申込み・問合せ先】

久万高原町保健福祉課長寿介護班
地域包括支援センター 武知・畝本
住所 〒791-1201
上浮穴郡久万高原町久万 212 番地
TEL 0892-50-0230
FAX 0892-21-2862
E-Mail:unemoto-yukio@kumakogen.jp

令和元年度 第2回 介護支援専門員スキルアップ研修 開催要綱

テーマ：相談援助職の記録の書き方を学ぶ

1 目的

介護支援専門員、ソーシャルワーカーなど、対人支援に携わる相談援助職にとって、日々の記録は欠かせません。その一方で、記録に自信が持てない、どこまで書けばよいかわからない、と悩んでいる人は多いのではないのでしょうか。

対人援助職者にとってそこで見た事、聞いた事、起こっている出来事、これらを短時間に適切に文字化し記録するスキルを持つことは、とても重要なことです。また最近では、開示にも応えられるものであることが望まれています。相談援助職としての記録のあり方や書き方について、活用できる記録方法等を学ぶことを目的としてこの研修会を開催します。

2 主催 久万高原町地域包括支援センター

3 対象者

- (1) 町内の介護支援専門員及び相談援助職者
- (2) 現在介護支援専門員として実務に携わっている方
- (3) 地域包括支援センターの職員
- (4) えひめKUMAの会の会員
- (5) その他関係職員

4 受講定員 30名

5 開催日時及び内容

日 時	内 容	講 師 名
令和元年 10月26日(土)	12:00~13:00 受 付	福島県立医科大学 放射線医学県民 健康管理センター 特任准教授 八木 亜紀子 氏 (詳細は裏面参照)
	13:00~17:30 講義 「対人援助職に求められる記録」	
令和元年 10月27日(日)	08:30~12:00 講義・演習Ⅰ 「記録に必要とされる要素」 「実践で活用できる記録の フォーマットと表現」	
	12:00~13:00 昼食・休憩	
	13:00~15:00 演習Ⅱ 「記録の実際」	

6 会 場 久万高原町役場 2 階「大会議室」 久万高原町久万2 1 2 番地

7 参加費 ￥5,000円 ※対象者のうち(1)及び(4)で参加する方は無料

8 昼 食 各自でご準備ください。

9 参加費の振込み

参加費の振込みについては、受講決定案内時に納付通知書を同封いたしますので金融機関でお振込みください。

- 10 申込方法 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、事務局まで郵送又はFAXにてお申し込みください。
- 11 申込締切 令和元年10月7日(月)必着
(受講申込者多数の場合は、お断りさせていただく場合があります。)
- 12 駐車場 役場駐車場か産業文化会館の駐車場をご利用ください。
- 13 その他 主任介護支援専門員更新研修の受講要件(3)②に該当する研修です。
不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
- 14 申し込み・連絡先
〒791-1201 上浮穴郡久万高原町久万212
久万高原町地域包括支援センター(担当/武知・畝本)
TEL 0892-50-0230 FAX 0892-21-2862
E-Mail: unemoto-yukio@kumakogen.jp

【講師紹介】



八木 亜紀子 氏

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 特任准教授
プリンシプルコンサルティング株式会社 プリンシプル職場の心理学研究所 所長
アアライ株式会社 代表取締役

【取得資格】
米国カリフォルニア州臨床ソーシャルワーカー・精神保健福祉士・公認心理士・
国際EAP(Employee Assistance Program)協会認定 EAプロフェッショナル
【専門】

臨床ソーシャルワーク、EAP、専門家倫理
ウィスコンシン大学大学院マジソン校(University of Wisconsin - Madison) ソーシャルワーク修士課程修了
同志社大学大学院アメリカ研究科博士課程単位取得満期退学
米国サンフランシスコのRichmond Area Multi-Services Inc.にて日英両語で個人、家族、グループ療法を提供し、
日系コミュニティへのアウトリーチに従事。またニューヨークのAon Consulting Inc.でリーダーシップ養成トレーニング、コーチングを日英両語で行った。
帰国後、(株)イーブで従業員支援に携わるとともに、EAP 専門家養成講座を企画運営し、スーパービジョンを提供。筑波大学、東京学芸大学で教職員のワーク・ライフ・バランス支援、女性研究者支援に従事。また社会福祉法人JHC 板橋会ワーキング・トライで障害者の就労支援に携わった。
現在は、福島県における被災者支援と相談援助職に向けた記録の研修、組織のメンタルヘルスやハラスメントに関する研修やコンサルティング等に携わる。

【主な著書】
『相談援助職の「伝わる記録」現場で使える実践事例74』中央法規出版、2019年
『事例で理解する相談援助のキーワードー現場実践への手引き』(編著)中央法規出版、2019年
『相談援助の記録の書き方ー短時間で適切な内容を表現するテクニック』中央法規出版、2012年

【会場案内】

